

女性リーダー育成スキルアップ支援事業【中能登町】

個別事業費	230 千円
交付金額	115 千円

地域の実情と課題

- 1) 地域活動における町内会等の地域活動へ参加の割合として、男性の参加率は 61.8%、仕事や家庭以外の活動へ参加していない女性の割合は37.6%となっている。【第3期中能登町男女共同参画行動計画策定にあたってのアンケート結果参照】
- 2) 防災を含めた地域活動への女性参画、女性の指導的立場の積極的な取り組みをはじめ、コミュニティ団体の形成など女性活躍の場の促進を一層支援していくことが必要

事業の特徴

- 1) 町内女性有志の会と連携しながら、気軽に話せる機会をつくりながら、能登半島地震から1年を迎える前に災害に備える意識を高める防災学習セミナーを実施。
- 2) ワークショップで話した意見や声などを、誰もがみれるようメッセージボードを作成して、団体の活動拠点に見える化した。

事業の効果

域内に被災者や女性に寄り添ったカフェ環境の設置が実現できた。また、主体的に活動する女性有志の団体「おしゃべり倶楽部」を中心に支援のネットワークが広がり、域内の女性活躍の場、女性防災リーダーの人材確保の環境面と人材面の両面で効果につながった。

- 事業目標・実績 参加者数120名(達成) 目標 50名
- KPI 満足度 90% 目標 80%
(達成:アンケート結果より)

目的・目標

能登の女性がほっと一息話せる場の提供として、中能登の女性有志団体「おしゃべり倶楽部」を中心に、も継続的な交流や防災学習の場の提供し、企業の枠を超えた人材交流を通じての情報交換やワークショップを通じて地域のネットワークを広げながら地域で「女性防災リーダー」を育成し、震災で受けた心のケアを図る。

連携団体

【各種団体名】中能登町女性協議会、中能登町教育委員会、中能登町社会教育委員会、中能登町公民館運営審議会、中能登町人権擁護委員会、金沢大学、中能登町区長会、中能登町商工会、石川県立鹿西高等学校、中能登町校長会、中能登町実年会、中能登町スポーツ推進委員会、中能登町青壮年協議会、中能登町役場

【連携方法】女性有志団体によるSNS配信サービスにて取り組みやセミナー情報などを案内したり、町公共施設や小・中・高校にチラシなどの掲示や配布を実施したほか、仮設住宅に入居の方に個別にチラシを配布した

今後の課題

公共施設の活動拠点で活動を継続しつつ、高校生などの若年層の世代との連携が課題

事業の概要

● 全4回のスキルアップ・普及啓発・意見収集に係る事業内容

1回目



□【防災お助けスキル】能登半島地震1年を前に災害に備えるセミナー

【日時】令和6年12月22日 【場所】金丸交流館

【講師】七尾鹿島消防本部の消防士

中能登町女性消防団

【参加者】約20名

【成果】ペットボトルで防災備蓄の備えを学びながら、能登半島地震から1年を前に、家庭防災備蓄や災害への心構えを確認

3回目



□【防災学習講演会】民間企業の被災地ボランティア活動

被災地ボランティアで感じた自助の必要性・共助の大切さ・公助との連携

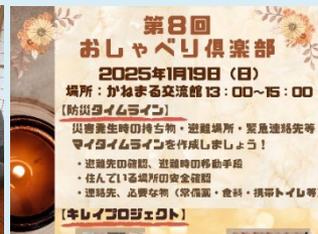
【日時】令和7年2月16日 【場所】古民家の宿えにし屋

【講師】民間人（美容師、療術院）

【参加者】約30名

【成果】民間のボランティア活動の考え方を共有できた

2回目



□【防災タイムライン・防災キレイプロジェクト】心身リフレッシュセミナー

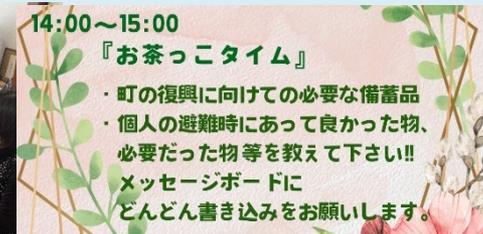
【日時】令和7年1月19日 【場所】金丸交流館

【講師】石川県内のネイル、ヘッドスパ、美容整体の民間人

【参加者】約30名

【成果】子育てママとの交流や美容体験で震災疲れの心と体のケアを図ることができた。またMYタイムライン体験では、自分の携帯番号や親族の連絡先がわからない方が多く、チェックシートなど簡単に仕上げるができる様式の工夫が必要と感じた。

4回目



□【防災ワークショップ】おしゃべりワークショップイベント

避難時に必要な備蓄品や避難時に感じたことを話しながら、被災の心のケアを図りながら、今後の復興に向けての思いのメッセージを書いた。（JR能登部駅町民ギャラリーONIGIRIで展示）

【日時】令和7年3月9日 【場所】金丸交流館

【講師】おしゃべり倶楽部

【参加者】約20名

【成果】復興に向けてのメッセージを一緒に考えた。

事業の概要

● 誰でも気軽に立ち寄れる場所「おしゃべりカフェ」

その他



□【おしゃべりカフェ】気軽に立ち寄れる場所の提供

【日時】令和6年12月から令和7年3月までの毎週木曜日

【場所】JR能登部駅横 町民ギャラリーONIGIRI

【活動者】おしゃべり倶楽部

【参加者】20名

【成果】被災した方の孤立を、防ぐための空間づくりによる心身リフレッシュによる活動を通じて生きがいの創出につながった。



ワークショップや参加者の声をボードに貼り付け
誰でも見ることができる